

令和4年度

事業計画書

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

I 公益目的事業

1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

太田記念美術館において下記のとおり 7 つの展覧会を開催する。年間入館者数は新型コロナウィルス感染症の影響長期化を踏まえ、47,000 名を目指とする。令和 3 年 1 月に開始した「オンライン展覧会」の発信等を引き続き行い、実際の入館者数だけでなく、「オンラインの観覧者数」増加も目指す等、美術館の持続的発展を追及していく。

「オンライン展覧会」は、実際の展覧会と連動し、出品作品の画像と解説等をインターネット上で発信する活動であり、詳細は「3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」および「5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版」に記載する。

① 企画展 北斎とライバルたち

前期：令和 4 年 4 月 22 日～5 月 22 日 後期：令和 4 年 5 月 27 日～6 月 26 日

開催日数：54 日間

入館料：一般 1,000 円、大高生 700 円、中学生以下無料

葛飾北斎の代表的な作品を展覧し、歌川広重、歌川国芳などの作品を比較展示することにより、同時代に腕を競いあったライバルたちとの関係性を浮かび上がらせる。

② 企画展 源平合戦から鎌倉へ 一清盛・義経・頼朝

令和 4 年 7 月 1 日～7 月 24 日

開催日数：21 日間

入館料：一般 800 円、大高生 600 円、中学生以下無料

平清盛や源頼朝、源義経などといった武将たちによる、源平合戦の戦いや鎌倉時代の事件を描いた浮世絵を紹介する。

③ 特別展 浮世絵動物園

前期：令和 4 年 7 月 30 日～8 月 28 日 後期：令和 4 年 9 月 2 日～9 月 25 日

開催日数：47 日間

入館料：一般 1,200 円、大高生 800 円、中学生以下無料

ペットとして人気の猫や犬、縁起の良い鶴や亀、擬人化された雀や兎など、様々な動物が描かれた浮世絵を展示し、その多彩な表現や江戸の人々と動物たちの深い関わりを紹介する。

④ 企画展 はこぶ浮世絵 一くるマ・船・鉄道

令和 4 年 10 月 1 日～10 月 26 日

開催日数：22 日間

入館料：一般 800 円、大高生 600 円、中学生以下無料

江戸時代、五街道や廻船航路等の整備により水陸の交通が発達し、人・物を運ぶ手段は大いに向上した。鉄道が開通し、更なる発展を遂げた明治時代に至るまで、「はこぶ」をテーマに浮世絵を紹介する。

⑤ 企画展 閣と光 一清親・安治・柳村

前期：令和 4 年 11 月 1 日～11 月 23 日 後期：令和 4 年 11 月 26 日～12 月 18 日

開催日数：40 日間

入館料：一般 1,000 円、大高生 700 円、中学生以下無料

小林清親を中心に、弟子の井上安治、さらには謎の絵師・小倉柳村による、光と闇の表現が印象的な風景画を紹介する。

⑥ 企画展 浮世絵と中国

令和 5 年 1 月 5 日～1 月 29 日

開催日数：22 日間

入館料：一般 800 円、大高生 600 円、中学生以下無料

三国志や水滸伝の豪傑、中国の故事・伝説、花鳥画や風景画など、中国文化から影響を受けた浮世絵を紹介する。

⑦ 企画展 広重おじさん図譜

前期：令和 5 年 2 月 3 日～2 月 26 日 後期：令和 5 年 3 月 3 日～3 月 26 日

開催日数：42 日間

入館料：一般 800 円、大高生 600 円、中学生以下無料

企画協力：公益財団法人 中山道広重美術館

広重の風景画の中に脇役としてしばしば登場する「おじさん」に着目。通常の広重展とは異なるユニークな視点から、広重が描く浮世絵の魅力を紹介する。

(開催予定日数は 248 日、展覧会名は仮称)

2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

- 1) 収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、新たな美術品の収集を行うとともに保全管理を的確に行い、必要に応じて補修を行う。
- 2) 浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理する。また、温湿度管理、照度管理を厳格に行い、作品保護に努める。
- 3) 美術品目録と美術品現物との照合を行う予定である。新型コロナウイルス感染症予防の観点から令和 2 年度以降延期となっており、令和 4 年度も感染拡大の状況によっては、実施を見送る可能性がある。

3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

1) 講演会等の開催

講演会等の催事の開催を、下記のとおり予定している。なお、例年開催していた江戸文化講座、夏休み子ども講座、学芸員によるスライドトークは、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和 3 年度に引き続き令和 4 年度も中止とした。

①若手の浮世絵研究者による講演会

浮世絵研究者の育成を目的とした講演会を開催する。詳細は「4. 浮世絵研究者の育成および助成」に記載。

②学芸員による展覧会特別講演会

展覧会の解説を中心に、担当学芸員による展覧会特別講演会を開催する。例年開催していたスライドトークよりも、さらに専門的な内容を詳しく紹介する。感染対策のため、受講人数を限定した有料講座とする。回数、内容等は未定。

③日曜映写会

浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料などの上映会を定期的に開催する。

—新型コロナウイルス感染症の拡大が続く現状を踏まえ、当面中止とする。再開は状況を考慮の上判断する予定である。

2) 青少年への教育普及活動

青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生以下の入場料を無料としている。

3) 年間パスポート制度

来館者へのサービスの向上および浮世絵美術の普及を目指し、「太田記念美術館年間パスポート」制度を毎年実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、展覧会の開催が中止、変更となる可能性を考慮し、引き続き令和4年度の募集も中止とする。

4) 館外協力

①教育機関への協力

学校等からの要望に応じて、学芸員による展示解説、講義等、美術鑑賞教育を行う。

展示室内の混雑緩和のため、団体での入館を当面中止とし、再開は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮の上判断する予定であり、希望する教育機関と相談の上、可能な限りの対応とする。

②他機関への協力

ア) 作品貸出協力

当館の周知および浮世絵美術の普及を目指し、美術館、博物館等からの作品貸出の要請に対し、作品の状態や展示計画を考慮の上、可能な限り協力する。

イ) 写真資料貸出協力

美術館、博物館、大学等の研究機関への貸出を通じて芸術文化の振興に寄与する。

③調査研究依頼への協力

美術館、博物館、大学等の研究機関からの作品特別観覧の要請に対し、可能な限り協力する。

5) 生涯学習活動への対応

生涯学習センター等の民間組織、団体見学者等に対して、学芸員による展示解説、講義等、美術鑑賞教育を要望に応じて行う。

一団体見学者の受け入れは、展示室内の混雑緩和のため当面中止とし、再開は状況を考慮の上判断する予定である。

6) 広報活動

美術館および展覧会のPRを幅広く行い、浮世絵美術の普及広報に努める。

①マスメディア

- ・展覧会PR資料の送付、取材への積極的な対応、写真資料等の貸出など、展覧会および美術館の広報を行う。

- ・当面の間、記者内覧会の開催は見合わせ、内覧を希望する報道関係者ごとに個別対応をとる。担当学芸員が館内にて見どころや作品解説を行い、展覧会開催の効果的かつ幅広い周知を目指す。

②特別内覧会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和4年度は、美術関係者を招待する特別内覧会を行わない予定である。

③印刷物の作成・配布

展覧会のポスター・チラシ、年間展示案内、浮世絵研究助成募集チラシ（日本語・英語）などを作成し、館内にて掲示、配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展覧会、催事の周知に努める。

④ウェブサイト、ソーシャルメディア等の活用

◇ウェブサイト

利用案内、展覧会および講演会等の開催情報、浮世絵研究助成、さらに図録・研究紀要等の出版物についての情報を美術館ウェブサイトにて提供する。

◇Twitter

- ・展覧会情報、催事等を積極的に発信することにより、口コミによる集客力の向上および幅広い年齢層への認知度向上に努める。
- ・展示作品にとどまらず、季節や身近な話題に合わせた浮世絵を、収蔵品を中心に紹介し、浮世絵関心層の発掘に努める。
- ・他館の展覧会情報について日本美術を中心に告知し、美術館・博物館業界全体の普及活動に貢献する。

◇note

メディアプラットフォーム「note」を活用し、浮世絵に関するコラムや展覧会紹介記事等を掲載することにより、浮世絵ファン層の拡大および美術館認知度向上に努める。また、来館が叶わなくとも展覧会を楽しむことができるよう、「オンライン展覧会」と銘打った有料記事を発信する。オンライン展覧会の具体的な内容は「5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版」に記載。

7) 他館との連携

例年、千葉市美術館と連携し、太田記念美術館年間パスポート会員、千葉市美術館友の会会員の相互割引サービスを実施している。令和4年度は当館の会員募集を中止したが、千葉市美術館友の会会員に対しては、引き続き入館料割引を行う。

8) 地域との連携

JR 渋谷駅、恵比寿駅、原宿駅を結ぶエリアの文化施設連携事業「あ・ら・かるちゃー」に引き続き参加する。館内にて紹介冊子を配布、入館料の相互割引等に協力するほか、運営会議等へ出席し、他施設との情報交換を行う。

9) ミュージアムグッズ等の製作・販売

- ①来館の記念となり、また、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズを製作・販売する。
- ②復刻浮世絵版画および美術鑑賞の手助けとなるような関連書籍等の受託販売を行う。

4. 浮世絵研究者の育成および助成

1) 研究助成

内外の新進浮世絵研究者育成のため、毎年「浮世絵研究助成」の公募と選考を行っている。研究活動に対し助成を行うことにより、浮世絵の一層の普及・発展を通じて芸術文化の振興に寄与することを目指している。

募集要項を記載したポスター（日本語・英語）を館内掲示のうえ、案内チラシを主要研究機関等に発送するとともに美術館ウェブサイト（日本語版・英語版）に募集要項を掲載し、広く募集を行う。

入選者の助成による研究成果に基づいた論文は『太田記念美術館紀要 浮世絵研究』に掲載する。

2) 若手浮世絵研究者の講演会開催

研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに研究者相互の交流を図るため、若手の浮世絵研究者による講演会を開催する。

5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

1) 作品の調査研究

収蔵品および個人、団体所蔵の関連作品の調査研究を行い、その成果を展覧会、研究紀要等にて発信する。

2) 資料・図書の充実

①収蔵品の調査研究、図録制作のため写真撮影を行う。

②主要収蔵品のデジタルデータ化を進める。

③展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を収集する。

④新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を遅滞なく行う。

3) 展覧会図録等の刊行

①以下の展覧会の開催にあわせ、リーフレットを刊行する。

・企画展「闇と光 一清親・安治・柳村」

②『太田記念美術館紀要 浮世絵研究』第13号を刊行する。

③以下の展覧会の開催にあわせ、メディアプラットフォーム「note」を利用し、「オンライン展覧会」と銘打った有料記事を発信する。基本的に実際の展覧会に出品の作品画像および解説等を掲載し、記事の料金は美術館入館料と一緒に設定する（システムの関係上一律、一般の入館料と一緒に設定）。

- ・企画展「北斎とライバルたち」
- ・企画展「源平合戦から鎌倉へ 一清盛・義経・頼朝」
- ・企画展「はこぶ浮世絵 一クルマ・船・鉄道」
- ・企画展「闇と光 一清親・安治・柳村」
- ・企画展「浮世絵と中国」
- ・企画展「広重おじさん図譜」

6. 美術館の運営

1) 改修工事

① 1階展示室内改修工事

4月1日より3週間休館し、畳敷き小上り展示スペースの改修工事を行う。

② 1階展示室中庭の安全対策工事

③ 1階展示室照明器具更新工事

2) 保全管理

- ① 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保全管理に努める。
- ② 新型コロナウイルスに関連した対応
 - ・「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（公益財団法人日本博物館協会）に沿い、感染対策を行う。
 - ・感染拡大の状況によっては、来館者および関係者の健康・安全部を第一に考慮し、臨時休館、開館時間の短縮、展覧会スケジュールの変更、講座・イベントの中止等を行う可能性がある。

II 収益事業

1. 美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業

公益目的事業に必要な財源を確保するため、美術館地下の一部を引き続き株式会社かまわぬに貸店舗として賃貸する。

以上